

日本技術士会中国本部 第13-03回 役員会議事録

(1/2)

会議名称	中国本部 第13-03回 役員会		
開催日時	2013年9月28日(土) 10:30~12:00	議事録 作成	2013年10月1日
開催場所	広島市文化交流会館		作成者;阿賀俊彦
出席者	大田、木口、寄高、住居、乗安、岡本、外山、長原、岡村、亀田、高木、桜井、阿賀、出羽 (役員総数23名、出席14名、委任状8名、合計22名で役員会は成立) オブザーバー:近藤、植田、勝田		
配布資料	資料1 第13-02回中国本部役員会議事録(案) 資料2.1 理事会、総務委員会等 資料3.1 中国本部から岡山県支部への補助額 資料3.2 中国本部からの補助(試算) 資料3.3 平成25年度中国本部活性化と会員拡大策 資料4.1 津山工業高等専門学校と日本技術士会中国本部岡山県支部の連携協力に関する協定書 資料5.1 協賛団体・会誌購読者入会状況 資料6.1 H25年度中国本部事業の開催実績・予定 資料6.2 H25年度中国本部CPD行事・収支計画・実績対比 資料6.3 第19回西日本技術士研究・業績年次大会 資料6.4 地域産学官と技術士との合同セミナー 資料6.5 島根県例会 資料6.6 農林水産部会例会・講演会 資料7.1 岡山県支部年次大会・記念式典収支報告 資料7.2 寄附申込書(岡山県支部) 資料9.1 地域プラットフォーム、登録申請書 資料9.2 安芸太田町科学アカデミー 資料9.3 中国本部技術者教育研究会		
議事	・大田本部長挨拶 1. 議事録確認 第13-02回中国本部役員会議事録(案)が確認後、了承された。 2. 統括本部会議等の報告 第3回理事会(9/12)の審議事項(①~⑥)、報告事項(⑦)が報告された。 ①統括本部事務局移転検討のための特別委員会の設置について②九州本部宮崎県支部及び佐賀県支部の設置について③研修委員会大学広報ワーキンググループの設置について④社会貢献委員会工事監査支援ワーキンググループの設置について⑤男女共同参画推進委員会女子学生支援ワーキンググループの設置について⑥会員による活動グループの登録にかかわる規則の変更について⑦中小企業庁が進める「地域プラットフォーム」の参画について 3. 中国本部から岡山県支部への活動費補助について [審議] (1)中国本部(案)が審議され、原案通り、補助額を1名当たり正会員2,000円、準会員1,000円、会誌購読者3,000円とすることが承認された。 (2)中国本部活性化と会員拡大策(案)として「5つの方針(案)」が示された。県支部の設置、技術士会組織の連携強化により正会員、会誌購読者会員の拡大を図る。 4. 岡山県支部と津山高専との協力協定について [審議] (1)協定書(案)が原案通り承認された。 (2)協定書調印式が、9月27日15時より、津山工業高等専門学校にて行われた。 (3)津山高専との協力協定をHPに掲載する。 (4)具体的実施事項は、今後、技術士会が案を作成し協議する。 津山高専としては、本科生(1~5年生)は年間4回程度、専攻生(6,7年生)は1回程度、平日に講義して欲しい意向であり、技術士会も了解した。 5. 中国本部の協賛団体、会誌購読者の入会状況について (1)協賛団体にも中国本部の会誌を配布する。 (2)割引券の適用は、会誌購読者は中国本部、協賛団体は支部とする。		

6. 平成25年度中国本部行事等の開催実績・予定
- 平成25年度の中国本部行事等の開催実績・予定および収支計画・実績対比が報告された。特に、9/28の「農林水産部会講演会」、10/25～26の「第19回西日本技術士研究・業績年次大会 in 高知」、11/9の「地域産学官と技術士との合同セミナー(岡山)」、11/30～12/1の「島根例会」の会員への周知・出席要請がなされた。
7. 岡山県支部活動報告について(年次大会・記念式典会計、寄付申込書)[審議]
- (1) 年次大会・記念式典収支報告は承認された。
- なお、「CPD補助対象」は、岡山県支部から統括本部に請求する。
- (2) 岡山県技術士会から日本技術士会への寄付金(¥1,123,537)が報告された。
8. 委員会・部会の活動報告について
- ・特になし。
9. その他
- (1) 中国本部地域プラットフォームへの登録
- 「広島地域中小企業支援プラットフォーム」に日本技術士会中国本部が加入した。プラットフォームに来た案件のうち技術士会に関係がある案件について、技術士会に問い合わせが来る。希望者は事前登録が必要。
- (2) 中国本部社会貢献活動の紹介
- ①安芸太田町理科教育の実施
- 事業委員会より安芸太田町への理科教育支援の紹介があった。
- 平成25年8月に3回の理科教育授業を開催した。
- ②理科教室支援
- 青年技術士交流会より小学生を対象とした理科教室、国際交流フェスティバル「ペアセロベ」の参加、ものづくり出前講座の紹介があった。
- ③大学への教育支援ほか
- 技術者教育研究会より鳥取大学工学部、近畿大学工学部の教育支援、エンジニアリング・デザインのテキスト執筆、および講演会、セミナーの実施状況の紹介があった。

以上